



『卒業後の働く場について』

今回、はたらく部会と合同で部会を開催しました。相談員、支援学校教諭、就労継続支援A・B型事業所職員と、様々な立場の方たちから、卒業後の働く場について、情報提供の場を設け、その後、グループワークを行いました。



福祉的就労にも色々な種類があり、自分にあった働く場を様々な道筋で見つけることができます。
～相談員から～



実習に行ったり、自分の得意・苦手についてしっかり話し合ったりして、働く場を決めています。
～支援学校から～

雇用契約となるので、毎日出勤出来る気力・体力が必要ですが、仕事については、わかりやすく、その人に合った仕事を提供しています。～就労継続支援A型「らしく赤磐」～



作業するだけではなく、レクリエーションやスポーツ活動などを通して、働く生活の能力を身に付けます。
～就労継続支援B型「しあわせの家」～



《参加者からの感想》

- どういう選択があるのか知る事が出来て良かった。就労に向けて、今からしっかり力をつけて、目標を持って育てていきたい。(保護者)
- 就労継続支援事業所はそれぞれ役割を持って事業をしていることを知ることが出来た。学校での就労の取り組みも知り、いい機会だった。(療育等事業所)
- A型・B型等の違いがわかり、とても勉強になった。(保護者)
- 保護者の方々にとっては、とても大切な内容だったと思う。(相談支援事業所)
- なんとなくしか分かっていなかったものが少し細かくわかり良かった。子供たちにも教えて今後に繋げていきたい。(保護者)

